

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年3月21日(2008.3.21)

【公開番号】特開2001-300167(P2001-300167A)
 【公開日】平成13年10月30日(2001.10.30)
 【出願番号】特願2001-31677(P2001-31677)
 【国際特許分類】

D 0 5 B 19/14 (2006.01)

D 0 5 B 1/20 (2006.01)

D 0 5 B 3/02 (2006.01)

【F I】

D 0 5 B 19/14

D 0 5 B 1/20 A

D 0 5 B 3/02 L

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月4日(2008.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上下動する針と揺動するルーパとにより布送り方向に沿う布の一側端縁に縁かがり縫目を形成する縁かがり縫いミシンにおいて、

針を布送り方向に交叉する方向の所定範囲に針振り位置に変位可能に連結した針振り手段と、

前記針が布上方に位置している間に前記針振り手段を作動させる作動手段、と

をして、
 かがり幅をミシン駆動中に変更しながら縁かがり縫目を形成可能としたことを特徴とする縁かがり縫いミシン。

【請求項 2】

前記作動手段が、

前記針が布上方に位置しているミシン主軸の一回転中の位相を検出する位相検出手段と、

前記位相検出手段の検出位相中に動作する駆動手段と、

前記針振り手段と駆動手段の間を連結する連結手段と、

前記針振り位置を所定針振り位置にするように前記駆動手段の動作量を設定する制御手段、

とを備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の縁かがり縫いミシン。

【請求項 3】

前記針振り手段が、前記針を前記交叉する方向に水平移動させることを特徴とした請求項 1 に記載の縁かがり縫いミシン。

【請求項 4】

前記作動手段が、前記針振り手段を所定縫目数毎に動作するように作動させることを特徴とする請求項 1 に記載の縁かがり縫いミシン。

【請求項 5】

前記作動手段が、前記針振り手段を所定模様単位で繰り返すように作動させる

ことを特徴とする請求項 1 に記載の縁かがり縫いミシン。

【請求項 6】

上下動する針と揺動するルーパとにより布送り方向に沿う布の一側端縁に縁かがり縫目を形成するとき、

ミシン主軸の一回転中において針が布上方にある間に前記かがり幅を変化させながら縁かがり縫い目を形成することを特徴とした縁かがり縫い形成方法。

【請求項 7】

前記かがり幅の変化を、所定縫目数毎に行なうことを特徴とした請求項 6 に記載の縁かがり縫い形成方法。

【請求項 8】

前記かがりの変化を、所定模様単位で繰り返すように行なうことを特徴とした請求項 6 に記載の縁かがり縫い形成方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の他の目的は、縫製中に布送り方向に対して交叉する方向に針落ち点を変化させることにより、模様縫い形状の縁かがり縫い目を提供することにある。